

今日からできる生ごみ減量

生ごみを減らすには、食材を「使いきる」「食べきる」ことが一番です。それでも出た生ごみは捨てる前に「水切りをする」ことで減量できます。

1 必要以上に買わない

- 冷蔵庫・冷凍庫の中を整理する
- 買い物に行く前に確認する

2 無駄なく使う

- 適切に保存し、腐らせない
- 大根の葉などは捨てずに食べる、切り落とす部分を少なくするなど、捨てる部分を減らす

3 料理はひと工夫

- 残った料理は冷蔵・冷凍を活用して、早めに食べきる
- 違う料理にリメイク

4 しっかり水切り

- 生ごみはできるだけ濡らさない
- 濡れた生ごみは最後にぎゅっとひと絞りする

生ごみ処理機を展示中
 日 毎月第3(木)～(土)
 時 8時30分～17時15分
 (土)は12時まで
 所 1階エントランスホール
 他 その他の日は市役所5階環境課前に展示

機種によりサイズや処理方法などが異なります。自身のライフスタイルに合わせた生ごみ処理機を選びましょう。

市内在住または市内に事業所があり、市税および清掃手数料を滞納していない方申生ごみ処理機を購入する前に、直接または電話で環境課へ予約をしてください。予算の範囲内で先着順に受け付けます

生ごみ処理機設置補助金制度の活用を
購入費(税込み)の4分の3を補助

電動式 上限5万円
 非電動式 上限2万円

主な生ごみ処理機

※本体価格は参考価格です。補助額は100円未満切り捨て

生ごみが消える・臭わない・虫が来ない
「海老名キエーロ」(非電動式)



本体価格 2万4,000円

補助金活用で 6,000円に

維持費不要

使い始めに入れる大量の黒土が生ごみを分解し、繰り返し使っても土が増えます。

大量の生ごみもOK、堆肥ができる
「コンポスト」(非電動式)



本体価格 7,884円

補助金活用で 1,984円に

維持費不要

土の地面に置くタイプです。落ち葉や雑草を入れて半年～1年かけて、堆肥を作ります。時々土を混ぜ込むなどの管理が必要です。

生ごみが数時間でパリパリ・約5分の1に減量
「乾燥型生ごみ処理機」(電動式)



本体価格 8万円

補助金活用で 3万円に

維持費 電気代700～1,000円程度/月

電気力で生ごみを乾燥させる、屋内用のコンパクトな生ごみ処理機です。燃やせるごみとして排出できるほか、堆肥の元としても使用できます。



本体価格 2万9,800円

補助金活用で 7,500円に

維持費 電気代600～800円程度/月

9月30日から開始 家庭系ごみの「一部有料化」と「戸別収集」
 合言葉は、「分別・水切り・減量化～私にできる小さな一歩～」

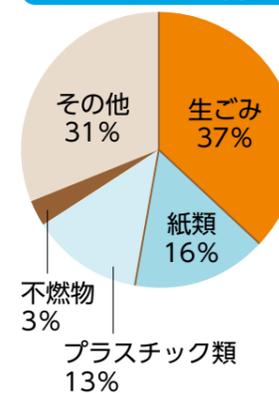


生ごみ処理機で燃やせるごみの減量を

環境課 ☎(235)4922

生ごみを減らすことは、燃やせるごみ減量に効果的です。9月30日から始まる家庭系ごみの一部有料化と戸別収集に向けて、自宅で生ごみの減量に取り組める生ごみ処理機を紹介します。

燃やせるごみの内訳



燃やせるごみの約4割は生ごみ
 食べ残しや調理くずなどの生ごみは、燃やせるごみの中でも37%と最も多くを占めています。水分が多い生ごみはごみの焼却効率を下げ、悪臭の発生源にもなります。

自宅で処理して減量へ「生ごみ処理機」

生ごみ処理機は、日々の生活で出る生ごみを自宅で処理できるもので、燃やせるごみの排出量を減らすことができます。電気を使って生ごみを処理する「電動式」と、電気を使わずに生ごみを発酵・分解する「非電動式」があります。



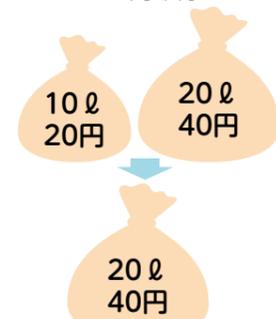
生ごみ処理機で3つの「減る」

生ごみ処理機を使って、生ごみを乾燥させたり堆肥にしたりすることには、3つのメリットがあります。

指定収集袋代が「減る」

燃やせるごみの減量はもちろん、指定収集袋を小さくできたり、数を減らせたりするので、袋代の節約につながります。

例えば...
 30ℓから3分の1減らして、20円節約



カラスや猫の被害が「減る」

生ごみからの汁だれや腐敗による悪臭を減らすことができ、カラスや猫の対策としても有効です。



「生ごみ処理施設」への負荷が「減る」

炉稼働時間を減らすことで、高座クリーンセンターに新設した炉を長期に渡って安定的に使用することにつながります。

